

平成 24 年 10 月 15 日

電通アジアの会長兼 CEO にディック・ファンモットマン氏が就任

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直、資本金：589 億 6710 万円）は、アセアン・オセアニア地域における事業の強化と収益性の向上を図るため、本日付で、当社の海外事業統括組織「電通ネットワーク」が管轄するアセアン・オセアニア地域の事業統括会社である「電通アジア」（電通 100%子会社）の会長兼 CEO（最高経営責任者）として、ディック・ファンモットマン氏（Mr. Dick van Motman）を迎えることにしました。

ファンモットマン氏は、1989 年にオランダの高等専門学校（Inholland University of Applied Sciences）でマーケティングと経済学を学んで経済学士を取得した後、アムステルダム大学（University of Amsterdam）で組織マネジメントを学びました。その後、オグルヴィ・アンド・メイザー、ダーシー・マシウス・ベントン・アンド・ボウルズ、レオ・バーネット・ワールドワイドなどの世界を代表する複数の広告会社で延べ 20 年以上勤務。ヨーロッパ、中国、アジアの各地で広告ビジネスに携わり、2005 年以降は経営トップとして活躍しました。直近は DDB グループのグレイターチャイナの社長兼 CEO を務めていました。

ファンモットマン氏の就任により、電通アジアではアセアン・オセアニア地域におけるマネジメントの強化、戦略クライアントとの関係強化、リージョナルおよびローカルにおける新たなクライアントの開拓を進めていきます。加えて、彼のこれまでの経験を生かしたグループ各社のサービスの質的向上、レピュテーションの向上、プロフェッショナル人材の採用・育成、電通 DNA の浸透、コンプライアンス活動の強化など包括的なリーダーシップの発揮も意図しています。そして、これらの経営施策によってアセアン・オセアニア地域における収益拡大を図り、電通グループの中期経営計画の達成に貢献してくれることを期待しています。

以 上